

1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、13日の年金定時払いの影響が残ったことで、当座預金残高が高水準で推移した。更に20日には、国債の大量償還・利払いに加えて、貸出増加支援資金供給オペが実施されたことで、150兆円台まで当座預金残高が増加。新しい積み期間に入ったものの、資金余剰感の強い一週間となった。無担保コールO/N加重平均レートは、一部業態で試し取りが見られたものの、特段レートを引き上げるには至らず、0.06%台後半での推移が続いた。ターム物は大手行から1W~1M物の調達が見られた。先週は固定金利方式の共通担保資金供給オペは実施されなかった。18日にオファーされた貸出増加支援資金供給オペは、今後のマネタリーベース増大の内訳に関わることから、注目が集まるなか、結果は49,890億円(借り換え含む)となった。日本銀行が今年2月にオペ内容を拡充(期間延長・一先あたりの金額を増額など)したことが素直に反映された結果となった。

今週は23日にTB3M発行超過要因があり、資金不足日となる。ただ、高水準の当座預金残高に加えて当局の潤沢な資金供給が続いていることから、レートに特段の変化はないであろう。今後の金融政策の方向性に関わるイベントとしては、27日の5月全国CPIが挙げられる。

2. オープン市場

先週の短国市場は、週を通して現先レートが低位安定で推移した。アウトライト市場は品薄感が強い中、16日の短国買入オペが10,000億円で実施されたことを受け、相場が全般的にやや強含む展開となった。国庫短期証券の入札は18日に1Y物、19日に3M物が実施された。1Y物は平均落札利回0.0368%、最高落札利回0.0388%、3Mは平均落札利回0.0352%、最高落札利回0.0362%となり、共に事前予想通りながらも、好需給を反映した入札結果であった。20日に20,000億円で実施された短国買入オペは平均利回較差▲0.006%、按分利回較差▲0.010%と需給逼迫懸念から強めの決着となった。

先週のCP市場は、20日発行を中心に石油、鉄鋼、ノンバンク業態等によるまとまった案件が見られ、発行総額は週間で1兆1,000億円程度(入札ベース)となった。a-1格以上の発行レートは、発行が増加していることで上昇傾向がやや見られていたものの、CP等買入オペ後には雰囲気が一転し、レートは低下傾向となった。16日に4,500億円で実施されたCP等買入オペは、応札可能な銘柄が極端に少なかったことから、応札額が4,434億円と未達となり、平均落札利回0.080%、全取落札利回0.001%と過去最低のレートを記録した。

今週の短国市場は、26日に3M物の入札が実施予定となっている。品薄感が非常に強いものの、絶対値がかなり低水準となっていることもあり、入札の動向が注目される。CP市場は月末に向けて発行が膨らむことが予想されるものの、発行レートは横ばいで順調な展開になると思われる。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で7,200億円程度の発行超見通し。財政資金は、23日のTB3M発行超過を中心に1兆1,200億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で1兆8,400億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還は除く)の動きは次の通り。<23日>TB3M;償還42,300億円・発行57,000億円 <26日>流動性供給;発行4,000億円/交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円<27日>預保借入;期日700億円

| 2014年 | 銀行券要因 | 財政等要因 | 資金過不足 | オペ | 期日 | 新規実行 | オペ合計 | 実質過不足 |
|---------|---------|----------|----------|--------------|-------|--------|--------|---------|
| 6/23(月) | △ 200 | △ 14,200 | △ 14,400 | 国債買入 CP買入 | △ 400 | 9,000 | 8,600 | △ 5,800 |
| 6/24(火) | △ 1,000 | 2,000 | 1,000 | 短国買入 | | 20,000 | 20,000 | 21,000 |
| 6/25(水) | △ 2,000 | 2,000 | 0 | | | | 0 | 0 |
| 6/26(木) | △ 2,000 | △ 3,000 | △ 5,000 | | | | 0 | △ 5,000 |
| 6/27(金) | △ 2,000 | 2,000 | 0 | 被災地支援 | | △ 500 | △ 500 | △ 500 |
| 週間合計 | △ 7,200 | △ 11,200 | △ 18,400 | | △ 400 | 28,500 | 28,100 | 9,700 |

(注) 上表の6/23は日銀予想、6/24以降は当社予想。

| | 国内主要経済指標 | 国債等入札予定 | 海外主要経済指標 |
|---------|--|----------------------------|--|
| 6/23(月) | 経済同友会2014年度第2回会員懇談会にて黒田総裁講演 | | 5月の米中古住宅販売 |
| 6/24(火) | | 流動性供給 4,000億円 6/26発行 | 5月の米新築一戸建て販売件数 4月のS&P/ケース・シラー住宅 価格指数 6月の米CB消費者信頼感指数 |
| 6/25(水) | 5月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50) | | 1-3月期の米GDP確報値 5月の米耐久財新規受注 |
| 6/26(木) | | TB3M 57,000億円 6/30発行 | 2Y 27,000億円 7/15発行 |
| 6/27(金) | 5月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 5月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 5月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省8:30) 6月都区部・5月全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 5月の商業販売統計速報(経済産業省 8:50) | | |

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。